



TITLE:

物性基礎論II(サブゼミ,1987年度物性若手夏の学校報告)

AUTHOR(S):

早川, 尚男

CITATION:

早川, 尚男. 物性基礎論II(サブゼミ,1987年度物性若手夏の学校報告). 物性研究 1988, 49(5): 505-505

ISSUE DATE:

1988-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/92913>

RIGHT:

サブゼミ 「物性基礎論Ⅱ」

今回のテーマは「フラクタルと秩序形成」とし、講師の高安氏を初め、若手の研究者4人を発表者として行われた。高安氏の名が広く知られていることもあり50名近くの参加者で椅子の足りない程の盛況振りであった。世話人として各発表者に注意したことは、非専門家であるM1が聴き手の主体であることである。そのせいか、高安氏、伊藤氏がビデオを用いたのをはじめ視覚に訴える比較的わかり易い講演が多かったように思う。反面、ドクターの参加者が少なくつまんだ議論ができず、ややおとなしいサブゼミとなったことは否めない。

尚発表者は以下の通り。

高安秀樹(神大・理) 「物理のフラクタル構造」

早川美徳(東北大・通研) 「DLAの物理」

伊藤伸泰(東大・理) 「フラクタルと臨界現象」

佐々真一(京大・理) 「乱流の物理」

早川尚男(神大・理) 「凝集現象の数理」

(文責 早川 尚男)